



令和 5 年度
浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー
事業報告書

令和6年 2 月
主催：浦添市市民部市民協働・男女共同参画課
受託：特定非営利活動法人シンコペーション

～ 目次 ～

1 浦添市まちづくりアカデミー開設と実施状況	3～4
2 目標の達成状況	4～5
3 講座の記録	3～

[参考資料]

1 浦添市てだこ市民大学実施要綱	
2 浦添市まちづくりアカデミー実施要綱	
3 令和5年度浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー実施要領	

※本報告書は、本事業の受託団体 特定非営利活動法人シンコーペーションの事業完了報告書を
基に、当課にて一部加筆・修正を加えたものです。

1 浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー概要と実施状況

(1) 概要

本市では、令和5年3月に策定した第五次浦添市まちづくり生涯推進計画に基づき、「いつでも何度でもまなびに挑戦できるまち」、「まちづくりへの参加促進」等を取組方針に掲げ、基本施策として、わがまち、うらそえを知る「てだこ市民大学」や、まちづくり協働に必要な知識及び手法を実践的に学ぶ「まちづくりアカデミー」を実施している。

令和4年度までは、両講座をそれぞれ個別に実施していたが、令和5年度より、協働人材の育成・充実を図ることを目的に、2つの講座を統合、「浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー」として、特定非営利活動法人シンコーションに運営を委託し、市と市民活動団体と協働で開催した。

(2) 実施状況

【目的】

まちづくり生涯学習と市民協働の推進を図るため、市民が浦添市のまちを知り、市民協働に対する理解をより深め、その取組に必要な知識及び手法並びにその実践についてともに学ぶ。

【期間及び講座数】

令和5年8月15日から令和6年1月11日まで(全7回)

【対象者】

本市のまちづくり生涯学習及び市民協働に関心のある者。
市外在住の場合、本市のまちづくりに取り組む意欲のある者。

【定員及び受講人数】

定員20名に対し14名の申込。

開講式での市長とのNPOリレートークでは、てだこ市民大学の講座として開催し、実際にNPOで市民協働の活動をしている法人の話聞き、市民協働とはどういうものかを学び、活動についてのイメージづくりを行った。

第2回講座までは、てだこ市民大学生涯学習講座として、実施。「地域を知る方法」を情報検索とインタビューの仕方から学んだ。

第3回講座からはまちづくりアカデミーとしての学びを主とし、「まちづくりプラン助成金交付事業(以下まちプラ)」の模擬体験の第一歩として、これまでにまちプラの交付を受けた3団体の話を聞き、インタビューを実践した。

第4回講座からは、模擬まちプラの準備として、市民のまちづくりや市民協働の意識を調査するためのアンケート項目を決定し、受講者がやってみたいまちづくり活動のタイトルを検討した。

「市民協働とまなびのフェスタ浦添2023」において、第4回講座で決定したまちづくり市民協働の

アンケートを行い、市民協働の実践活動とした。また、第5回講座は「市民協働とまなびのフェスタ浦添2023」の公開講座として行い、受講者だけではなく一般参加者と一緒にグループワークで「まちづくりレシピ」を考えた。

第6回講座では、第5回講座で出たアイデアを元に、2つのテーマに絞って「模擬まちプラ」の応募準備を行い、第7回講座にてグループ別に審査員を前にプレゼンテーションを行った。審査員から講評の言葉をいただき、今後の活動へのはずみとした。引き続き行った閉講式では、受講証書を授与し、今後のまちづくり市民協働活動への期待を伝え講座を終了した。

2 目標の達成状況

【テーマ】

人と地域と、ゆるやかにつながる。

地域の課題に気づき、共有する方法を学び、周りを巻き込みながらゆるやかに地域とつながる「まちづくり協働人材」を目指す。

【成果目標】

- ①受講者が地域の課題を自らの問題として捉えることができるようになること
- ②受講者が協働によるまちづくりにゆるやかに関わること
- ③まちづくり協働を理解し取り組む市民等がゆるやかにつながり合うこと

受講者のアンケートより、講座を通して社会課題に対して活動する人々の姿に刺激を受けたことが伺える。開講当初は「すごい活動をしている人がいる」と感じている受講者も、回を重ね、イベントを経験することで、たくさんの人とつながることで自分も協働者になれる事に気づくことができた。

アカデミー受講期間中に開催された「市民協働とまなびのフェスタ浦添2023」で行った市民活動に7割程度の受講者が参加したことから、講座を通して活動意欲が高まっていることの表れであり、全講座終了時には、受講者の多くが、今後も「主体的、積極的に市民協働に関わりたい」と考えている。さらに、「情報収集や勉強をしたい」と生涯学習への意欲も感じられる。

まちづくりプランへの応募には消極的な受講者が多くみられたが、イベントの振り返りやまちづくりプランへの応募方法の説明で応募意欲も高まり、8割程が何らかの形で応募したいと考えるように変化した。

講座開催中や閉講式の後などに、講師や自分の活動に関りがりそうなお受講者に積極的に声をかけたり、現在に行っている活動に今回の受講で得たアイデアを取り入れたりするなど、まちづくり活動への意識向上はなされている。

以上のことから、今回の浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミーの目標は概ね達成できたと考える。

〔業務委託仕様書 成果指標の達成状況〕

項目	指標	結果	達成率
①受講者数（最終値）	17名	14名	82%
②まちづくりプラン助成金交付事業への応募検討 受講者数	受講者数（最終値）の五分の一程度	6名	214%
③定期講座以外での市民活動の実施または参加 受講者数	受講者数（最終値）の二分の一程度	9名	128%
④受講満足度	80%	83%	103%
⑤今後のまちづくり協働への意欲度	80%	100%	125%

※②～⑤受託団体実施のアンケートより

3 講座の記録

令和5年度浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 講座一覧

回	日時	内容	講師等	参加人数
1	8/15 (火) 19:00~21:00	開講式 NPO リレートーク	松本哲治市長 (浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー学長) 宮里・モラノ・ジュン氏 (特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO) 池原千佳子 (特定非営利活動法人 シンコペーション)	35名 (受講者 9名、公開講座参加者 16名、その他 10名)
2	9/14 (木) 19:00~21:00	地域を知るための、情報検索やインタビューの方法を学ぶ。	屋良百合 (特定非営利活動法人 シンコペーション)	14名 (受講者 8名、他6名)
3	9/26 (火) 19:00~21:00	まちづくりプラン助成金交付事業を活用して、活動をしている実践者の話を聴き、インタビューをする。	ぐしともこ氏 (湧き水 fun 倶楽部) 石原宏紀氏 (福ふく会、Bee free lab) 池原千佳子 (特定非営利活動法人 シンコペーション)	13名 (受講者 5名、他8名)
4	10/19 (水) 19:00~21:00	市民協働とまなびのフェスタ浦添 2023 の来場者を実施するアンケートの項目を考える。	屋良百合 (特定非営利活動法人 シンコペーション)	9名 (受講者 3名、他6名)
5	11/12 (日) 14:30~16:30	市民協働とまなびのフェスタ浦添 2023 で実施。 ・まちづくりレシピを作成 (公開講座) ・市民協働のまちづくりアンケート。	浦崎修氏 (HODおきなわ)	21名 (受講者 9名、公開講座参加者 7名、その他 5名)
6	12/7 (木) 19:00~21:00	第5回講座で実施した ・アンケートの振り返り ・まちづくりレシピを参考に「模擬まちプラ」で応募するプランを選択。	屋良百合 (特定非営利活動法人 シンコペーション)	11名 (受講者 4名、その他 7名)
7	1/11 (木) 19:00~21:00	模擬まちプラ審査委員会の実施。 グループ発表 審査委員からの講評 閉講式	浦崎修氏 (HODおきなわ) 富山美那子 (浦添市市民協働・男女共同参画課長)	11名 (受講者 4名、その他 7名)

講座報告書

第1回講座	
日時	令和5年8月15日(火)19:00~21:00
テーマ	開講式 てだこ市民大学市民協働講座 NPOリレートーク
講師	松本哲治市長(浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー学長) 宮里・モラノ・ジュン氏(特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO) 池原千佳子(特定非営利活動法人シンコペーション 代表)
会場	浦添市市民協働・男女協働参画ハーモニーセンター研修室
参加人数	35名(まちづくりアカデミー受講者:9名 公開講座参加者:16名 行政:5名 登壇者:2名 事務局:3名)
講座内容 (概要)	<p>開講式及びトークセッションは、公開講座として行った。</p> <p>NPO リレートーク「まちづくり活動はじめの一歩」</p> <p>宮里氏</p> <p>ハンズオンでは、①人材育成②社会貢献③起こす起業家教育を柱に活動している。コロナ禍で子どもたちの学びを止めてはいけないと、子ども菜園を始めた。野菜作りが縁で「ちよーじか結まーる市場」を自治会、地域包括センター、CSW、保健相談センターと協働で開催している。助成金事業では、まちづくりプラン助成金交付事業、放課後こども教室、日本財団「子ども第三の居場所」、沖縄県子ども未来応援助成事業を活用している。自分たちのビジョンがぶれないような助成金を獲得するようにしている。“つながり”で起点づくり、三つの縁(支援・子縁・志縁)づくり。</p> <p>ハンズオンの活動では、うちなーぐちを大切にしている。SDGsという言葉を使わなくても、うちなーぐちの中に現代の課題への答えがたくさんあると思っている。</p> <p>松本市長</p> <p>ハンズオンは、浦添の児童センターに指定管理者制度を導入した時の委託法人である。教育とエンターテインメントの融合(エデュテインメント)で、子どもたちの成長のための面白い活動をしている。経塚児童センターは複合施設で、現在は地域自治会やCSW、地域包括センターが入居しており、それらをうまく巻き込んで、地域全体で活動している。</p> <p>池原</p> <p>特定非営利活動法人シンコペーションでは、こども食堂や食糧支援のボランティア、こども食堂のネットワーク、音楽での体験活動、行政からの委託事業などを行っている。こども食堂へはたくさんの寄贈品や寄付をいただいている、お礼や広報をすることで、さらに寄付を呼び、食材などはほとんどが寄付でまかなっている。足りない部分は助成金を活用している。おなじ想いを共有できる仲間がいること、増えることが一番のファンドレイジング。</p>

	<p>松本市長</p> <p>シンコペーションは、食支援だけではなく、文化的・社会的経験の支援を大切にしている、ムジカバンビーネの音楽での体験活動は特徴的である。組織として活動するには、周りを巻き込む人、巻き込まれて一緒に活動する人、いろいろなキャラクターがいるほうが楽しく続けられる。</p> <p>トークセッション</p> <p>NPOは楽しくないと続かない。楽しい環境をつくるために、本気で楽しむ。できないではなくできるために何ができるか、真剣に取り組めば、みんながアイデアを出してくれる。</p> <p>「空間」「仲間」「時間」に加え「手間」が大事。</p> <p>情熱、やる気だけは活動はできない。小さな資金を獲得する手段として、「まちプラ」を活用できる。地域を巻き込んでできることを考えていく。まちプラは事前相談を活用してエントリーすることが大事。いきなりでは失敗する。助成金を出す人の思いと、自分たちの思いがマッチする助成金にエントリーすることが大事。</p> <p>NPOとして活動する2者に共通することは、熱い思いを伝え、周りを巻き込みながら楽しく活動していることである。巻き込む力が「ヒト・モノ・カネ」をうまく循環させている。活動に興味を持った参加者からも多くの質問が出て、会場も巻き込んだトークセッションとなった。</p>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンズオン、シンコペーションそれぞれの熱い思いが聞いてよかった。両者に共通していた“つながり”によるまちづくりの実現ができるの良いなと思った。 ・皆さんが活動されていることや活動の中で大切にしていることを聞いて充実した講座でした！皆さんのやってみたいことも聞きたいと思いました！助成金へのイメージが軽くなった！ <p style="text-align: right;">（一部抜粋）</p>

写真



浦添市まちづくりアカデミー 第1回講座 アンケート

日時:令和5年8月 15日(火)19:00~21:00

場所:浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】35名

まちづくりアカデミー受講者:9名 公開講座参加者:16名 行政:5名 登壇者:2名

事務局:3名

【アンケート回答者】

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者8件 公開講座参加者 9件

2. お住まい

浦添市 14 件 浦添市外3件

3. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
16(94%)	0(0%)	0	0	1(6%)

4. あなたの「まちづくり」のイメージはどのようなものですか

【定期講座受講者】

- ・みんなでやるもの。リーダーが必要
- ・安心して最期を迎えられる浦添市です。
- ・楽しい手と手をつなぐイメージ
- ・交通安全を通して、地域のいろんなお顔とつながると良いな。
- ・ゆるやかに人と人がつながっている
- ・広い視野を持ち、子どもに人に優しいまちづくり
- ・地域がつながりを持ち、関わりながら、まちづくりを目指す会。

【公開講座受講者】

- ・みんなで仲良く過ごして、助け合う。
- ・人と人が協力して、みんなが助け合うまちにする。でもいまは隣近所の関わりが少ないので、まちづくりは全ての人が身遣いなるものではないのかなと感じる。
- ・まちづくりの境界はない。
- ・人と人とのつながり、協働、志縁
- ・全世代助け合える。
- ・熱意。思いの大切さ

・浦添市民としてそれぞれの地域で誇りに思える生き方と、浦添市が最高と思える生き方ができることをイメージします。

5. あなたがやってみたいことは何かありますか。

【定期講座受講者】

- ・今年度まちプラに参加いたします。
- ・子育てに優しいまちづくり
- ・これからきっと受講する内に浮かぶかも
- ・自治会活動(子ども育成会)を盛り上げる
- ・地域で一緒に支援する活動をまわりの皆さんとできたらと思います。

【公開講座受講者】

- ・とくにはないです。
- ・若い人たちを巻き込んだまちづくり。いろんな人たちの特技を活かして、活かす人たちも生きがいになる良い循環づくり。
- ・5 中学校区をつなぎたい。
- ・人材育成教育
- ・今のところなし
- ・教育の大切さ。ハンズオン、シンコペーションさんのような。具体的にわからない。
- ・子どもが幸福と思える地域作りと御老人がこの地域で生活できることを幸福と思える協働の社会づくり。

6. ご意見・ご感想など

【定期講座受講者】

- ・ハンズオン、シンコペーションそれぞれの熱い思いが聞けてよかった。両者に共通していた“つながり”によるまちづくりの実現ができると良いなと思った。
- ・本日熱い思い又素晴らしい活動をお聞きする機会を頂きありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく良かった。市長の話が良かった。宮里さん、池原さんも良かった。
- ・楽しいリレートークでした。楽しんでいることがすごく伝わってすごいな—と思いました。これからの受講が楽しみです。
- ・思わず参加してみたくなる 7 回連続講座ですね。企画された皆様お疲れ様です。
- ・いろんな活動の(案)を学べたり、話を聞けたので良かった。

【公開講座受講者】

- ・皆さんが活動されていることや活動の中で大切にしていることを聞いて充実した講座でした！皆さんのやってみたいことも聞きたいと思いました！助成金へのイメージが軽くなった！
- ・人と人との出会いの話をもう少し。後半、お金の話になっちゃった。
- ・今後自治会を含めて、地域が盛り上がってほしいです。

・今日の公開講座の宮里ジュン氏、池原千佳子さん、お二人共々すばらしい活動に感謝と感動でいっぱいです。本日は参加させて頂き本当にお勉強になりました。ありがとうございました。

講座報告書

第 2 回講座	
日時	令和 5 年 9 月 14 日(木)19:00～21:00
テーマ	てだこ市民大学 地域を知る～情報検索とインタビュー～
講師	屋良 百合(特定非営利活動法人シンコペーション)
会場	アイムユニバースてだこホール マルチメディア室
参加人数	14名(受講者 8 名 行政 1名 事務局 5名)
講座内容 (概要)	<p>マルチメディア室にてパソコンを使いながら情報検索の実習を行い、受講者同士でインタビューの練習を行った。</p> <p>1. 「地域を知る」こと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち歩きをする ・資料で調べる ・地元で活動している人の話を聞く ・講演会やセミナーに出かける <p>などの方法のうち、「資料で調べる」について深堀する。</p> <p>2. 資料で調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの検索実践 (グーグル検索、浦添市統計資料、統計データのポータルサイト「e-Stat」など) ・本・論文 (国立国会図書館サーチ、Google Books の使い方) ・新聞 (新聞の有効性、新聞社サイトでの記事の検索) ・図書館を利用する (OPAC の使い方、新聞データベース、本の探し方、レファレンス、沖縄学研究所) <p>3. インタビューの仕方</p> <p>インタビューシートを使い、聞きたいことを準備して、二人ペアでインタビューを行った。</p> <p>今回の講座は、てだこ市民大学 生涯学習分野の講座として行った。まちづくりの活動を行う上での情報収集の一つとして、パソコンを使用して情報を検索する方法を中心にお伝えした。パソコンに不慣れな受講者もいることから、大学生のサポートの入れ、受講者に寄り添いながら実施した。インタビュー実践では、インタビューシートに質問したい内容を書き出してからインタビューを行った。初対面でも積極的に対話している様子が見られた。次回の講座で、まちづくり活動実践者へのインタビューを行う。</p>

<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての参加でしたが、楽しく受講することができました。PC を使った検索など新しい発見がありました。PC の使い方もていねいにご教示下さって感謝です。 ・入り口部分で簡単な自己紹介があったので、ほっこり温かな雰囲気でのびのびと安心して講座にのぞめました。工夫された流れの講座で、しかも第3回につながっていくなんて、素晴らしいテクニックですね。ありがとうございました。 (一部抜粋)
<p>写真</p>	

浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 第2回講座 アンケート

日時:令和5年9月14日(木) 19:00~21:00

場所:アイムユニバースてだこホール マルチメディア室

【参加者】 14名

受講者 8名 行政 1名 事務局 5名

1. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
8(100%)	0(0%)	0	0

2. 情報検索について

理解できた	だいたい理解できた	難しかった
8(100%)	0(0%)	0

3. インタビューについて

理解できた	だいたい理解できた	難しかった
8(100%)	0(0%)	0

4. 質問があればお書きください。

特にございません

5. ご意見・ご感想など

- ・初めての参加でしたが、楽しく受講することができました。PC を使った検索など新しい発見がありました。PC の使い方もていねいにご教示下さって感謝です。
- ・ペアの方と会話をしながら、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。情報検索について、丁寧におしえてくださりありがとうございました。
- ・細かい検索の仕方(図書、新聞など)をしっかり学べたのでよかった。実践的なことを学べてよかった。
- ・屋良さんのお話わかりやすく良かったです。図書館にはここ数年足を運んでいないので、是非行ってみようと思いました。今日はありがとうございました。みごとに巻き込まれております！
- ・くわしい検索の仕方を教えて頂きありがとうございました。
- ・入り口部分で簡単な自己紹介があったので、ほっこり温かな雰囲気の中で開始でき安心して講座にのぞめました。工夫された流れの講座で、しかも第3回につなげていくなんで、すばらしいテクニックですね。ありがとうございました😊
- ・たくさん情報を選別、まとめていく幅がこんなに広いと知ることができた。いろいろ話が聞けてよかった。

講座報告書

第3回講座	
日時	令和5年9月26日(火)19:00~21:00
テーマ	市民協働のまちづくり『まちプラ』実践者リレートーク～
講師	ぐし ともこ氏(湧き水 fun 倶楽部) 石原 宏紀氏(福ふく会、Bee free lab) 池原 千佳子(特定非営利活動法人シンコペーション)
会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター 研修室
参加人数	13名(受講者:5名 講師:3名 行政:3名 事務局:2名)
講座内容 (概要)	<p>まちづくりプラン助成金交付事業を活用して活動している実践者の話を聴き、インタビューを行った。</p> <p>「浦添の湧き水マップづくり」(ぐし ともこ氏)</p> <p>湧き水 fun 倶楽部は2010年湧き水に関する情報を収集し、発信することを目的に発足。10年間ラジオ番組を続けた後、資料や情報を残すために活動。まちプラの助成を受けて市内の湧き水マップを作成。湧き水は災害時にも役に立つことから、防災に関連した活動にも力を入れている。活動をする上で仲間づくりが重要で、毎月定例会で集まることによりコミュニケーションを図っている。助成金を獲得するためには、気持ちを言葉にすることが大切で、以前に受講した「女性のためのNPO 起業家養成講座」での経験が役に立った。</p> <p>「福ふく会」「Bee Free LAB.」(石原 宏紀氏)</p> <p>福ふく会では民生員、自治会、社協、地域包括支援センター、学校、ボランティアにより福祉でまちづくりを行っている。高齢者がまちづくりの担い手として活躍できるよう「福ふくファーム」で野菜作りを始めた。野菜作りをきっかけにこれまでボランティアに参加しなかった男性高齢者が参加するようになった。また、引きこもりで就労不安のある若者の「人と会わない仕事がしてみたい」「蜂蜜を作ってみたい」という思いをかなえるために、まちプラを活用し、ミツバチ5000匹を購入。巣箱の管理を10日に1回行っている。蜂蜜がたくさん採れるようにと、地域の人たちが花を植えるなど協力してくれるようになった。だれが当事者かわからない、ごちゃまぜのまちづくりができています。</p> <p>「福祉避難所設置訓練」(池原千佳子)</p> <p>指定管理を受託している児童センターは福祉避難所に指定されていることから、子どもたちと一緒に福祉避難所設置訓練に取り組んだ。子どもたちの社会体験のため、継続して活動することを目的に、8か月かけて地域探検、防災マップづくり、ワークショップを経て福祉避難所設置訓練を実施した子どもたちが主体性をもって活動を継続するのはかなり困難。地域の方々の協力を得ながら、子どもたちに温かい声掛けをしていただき、何とか最後までたどりついた。</p>

	<p>☆助成金の申請</p> <p>申請の段階からいろいろなところと協働することが大事。</p> <p>お金があることを前提にすると、目的がずれてくるため、お金がなくてもできるけれども、これだけの予算があればこんなこともできるというスタンスが必要。</p> <p>助成金が終了した後継続するのは大変だけど、助成金をきっかけに活動を広げていく。</p> <p>やろうと言いだした人がいなくなったり、意図しない人が入ってきたり、想定外のことが起こる。いろいろなアクシデントは起こるが、何とかなる。</p> <p>失敗してもいいという姿勢が大事。</p> <p>何よりも楽しんで活動することが大事！</p> <p>まちづくり活動実践者には、失敗談も含め話してもらった。リレートーク後、参加者が発表者にインタビューを行うことで、「まちプラ」を活用した活動をより身近に感じてもらうことができた。インタビューの時間をもう少し長く設定したほうが、より深く話を聞くことができたのではないかと感じた。</p>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんでやるということが成功の秘訣等お話を聞いて良かったです。 ・失敗談などお聞きして、まちプラ応募について、かまえなくてよいのだなあと心が軽くなりました。 ・3つの活動のお話とてもうなずきながらお聞きすることができました。とても面白く、今後人と人のつながりを大切に活動していこうと思いました。本当にありがとうございました。 ・まちプラ体験談をシリーズ化しては。おもしろすぎました。 (一部抜粋)
<p>写真</p>	 <p>The collage consists of seven photographs arranged in two rows. The top row has four photos: a man speaking at a podium with a name tag '石原 宏紀'; a woman speaking at a podium; a woman speaking at a podium; and a group of people sitting in a circle. The bottom row has three photos: a man and a woman sitting and talking; a group of people sitting in a room; and a group of nine people standing together for a group photo in front of a banner that reads '横浜市 元気なまちづくり大学'.</p>

浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 第3回講座 アンケート

日時: 令和5年9月 26 日(火) 19:00~21:00

場所: 浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】 13名

受講者: 5名 講師: 3名 行政: 3名 事務局: 2名

1. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
5(100%)	0(0%)	0	0

2. 『まちプラ』リレートークについて

満足	やや満足	やや不満	不満
5(100%)	0(0%)	0	0

3. インタビューについて

実践できた	だいたい実践できた	あまり実践できなかった
1(20%)	4(80%)	0

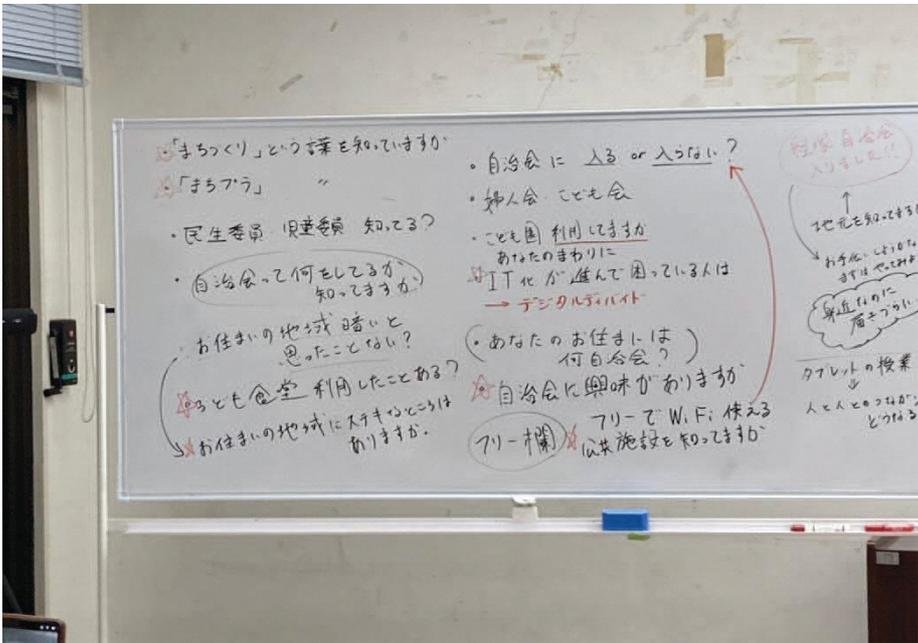
4. 話を聞いて、活動に生かせそうなことはどんなことですか

- ・失敗談などお聞きして、まちプラ応募について、かまえてよいのだなあと心が軽くなりました。
- ・周りの声にふりまわされそうになった時、最初の想いに戻り、ぶれずに活動することができたとお話や楽しむことを教えて頂きました。
- ・楽しんでやるということが成功の秘訣等お話を聞いて良かったです。
- ・仲間づくりの重要性、活動を楽しむ(自分のため)
- ・皆さんの活動を聞いて感動!! 目的を持ち行動するコミュニティー力すごいです。

5. ご意見・ご感想など

- ・まちプラ体験談をシリーズ化しては。おもしろすぎました。
- ・3つの活動のお話とてもうなずきながらお聞きすることができました。とても面白く、今後人と人とのつながりを大切に活動していこうと思いました。本当にありがとうございました。
- ・時間がたりなくて残念です。聞きたいことが聞けなかったです。また、ボランティアの方への声掛けの仕方などが聞けたことは大変参考になりました。
- ・講座資料がほしい。テーブルを設置してほしい(文字を書くため)

講座報告書

第4回講座	
日時	令和5年10月19日(木)19:00~21:00
テーマ	まちづくりへの思いを共有する
ファシリテーター	屋良百合(特定非営利活動法人シンコーペーション)
会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター 研修室
参加人数	9名(受講生:3名 行政:1名 見学:1名 事務局:4名)
講座内容 (概要)	<p>1. 市民協働のまちづくりのアンケートの項目を考えよう 市民協働とまなびのフェスタ浦添 2023 にて、来場者に実施するアンケートの項目を引き出した。</p>  <p>その中から、参加者が答えやすい設問になるよう文言を検討し、実施するアンケート項目を決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まちづくり」という言葉を聞いたことはありますか。 ○「まちプラ(まちづくりプラン助成金交付事業)」を知っていますか。 ○あなたやご家族は「子ども食堂」を利用したことがありますか。 ○Wi-Fi が無料で使える公共施設を知っていますか。 ○あなたの住んでいる地域にステキなところはありますか。 ○自治会活動に興味はありますか。

2. わたしのまちづくりレシピ

受講者が市民協働のまちづくりで実施したいことにタイトルをつけ、発表した。

○そうだ！自治会へ行こう

高齢化、お金のことを考えよう

○老若男女みんなが気軽に集える場所作ろう

何気ない広場、公園の有効活用

○ま～るい子育て つながる社会

大人から子どもまでつながる

○Jump で Happy !

みんながうつむかず前向きにいられる社会

受講者それぞれが思い描くまちづくりの活動にタイトルをつけることで、次回の講座でたくさんアイデアが出せるようなきっかけづくりとした。

講座アンケート項目より

活動を実現するために巻き込めそうな人はどんな人ですか

自治会の人たち

地域を知っている人

話しやすい人で人に興味のある人

写真



浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 第4回講座 アンケート

日時:令和5年10月19日(火) 19:00~21:00

場所:浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】 9名

受講生:3名 行政:1名 見学:1名 事務局:4名

1. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
3(100%)	0(0%)	0	0

2. 市民協働のまちづくりについて、自分で実現してみたいことのイメージはつかめましたか。

イメージがはっきりしてきた	ぼんやりとつかめた	もっといろんな人のアイデアを聞いてみたい	まだ浮かばない
0(0%)	1(33%)	2(66%)	0

3. 活動を実現するために巻き込めそうな人はどんな人ですか

自治会の人たち

地域を知っている人

話しやすい人で人に興味のある人

4. 市民協働とまなびのフェスタについて

13時から参加可能 2

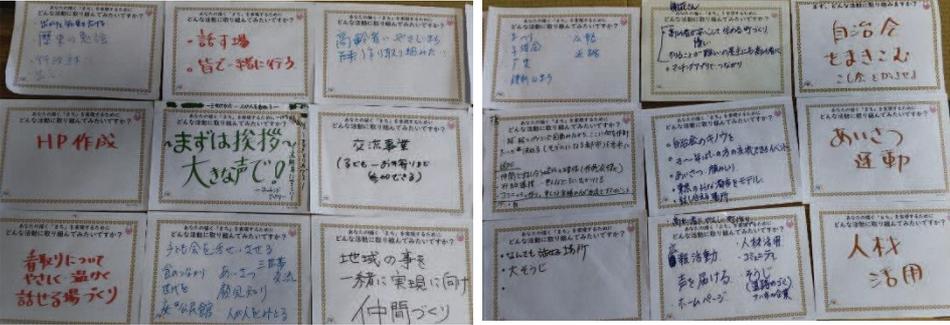
公開講座(14:30~16:30)に参加可能 2

欠席 1

5. ご意見・ご感想など

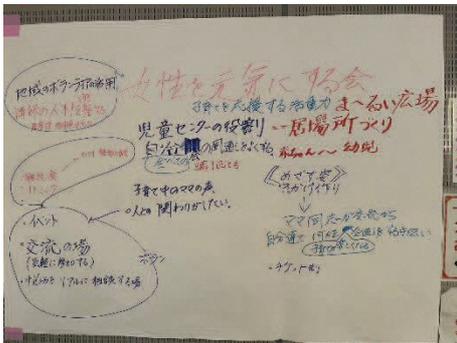
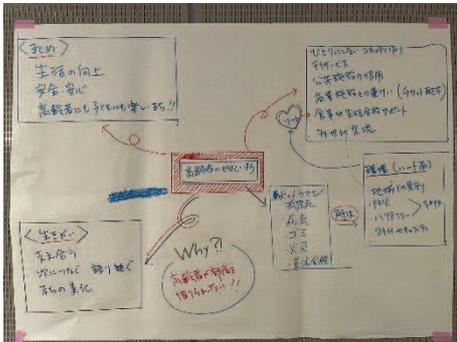
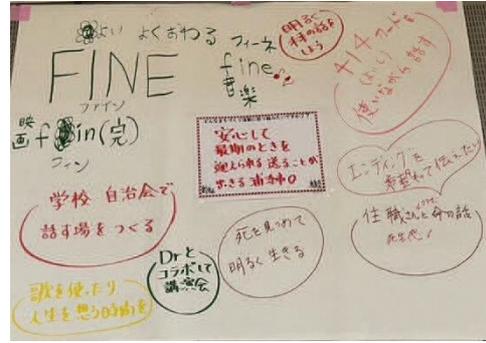
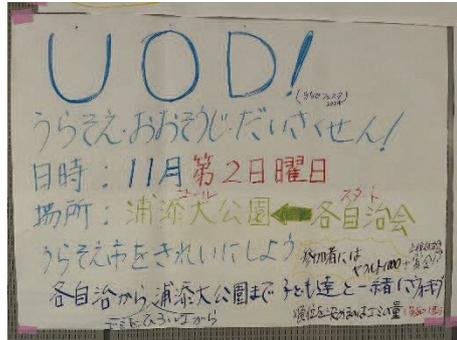
記述無し

講座報告書

第5回講座	
日時	令和5年11月12日(日)14:30~16:30
テーマ	みんなで語ろう!まちづくり“レシピ”【公開講座】
ファシリテーター	浦崎修氏(HOD おきなわ)
会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター ホール
参加人数	21名(アカデミー受講者:9名 公開講座受講者:7名 講師:1名 ハーモニーセンター:2名 事務局:2名)
講座内容(概要)	<p>市民協働のまちづくり活動について、参加者同士が対話をとおしてアイデアを出し合った。</p> <p>～ 対話をとおして学び合う場 ～</p> <p>1 オリエンテーション</p> <p>○最近、楽しみにしていることは?</p> <p>○あなたの「まち」をどんな「まち」にしたいですか?</p>  <p>2 アイデアを生み出す</p> <p>○あなたの描く「まち」の姿に賛同する人が現れ、その実現のために、人や資金、その他必要なすべての支援を申し出ています。まず、どんな活動に取り組みますか?</p> 

3 レシピをつくる

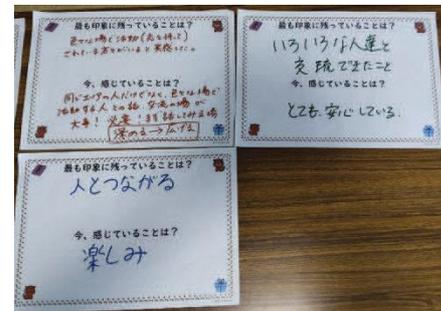
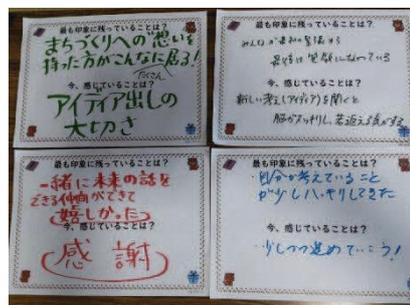
○取り組みたいアイデアがある人は提案し、それに賛同する人はメンバーとしてレシピづくりに参加する。



4 振り返り

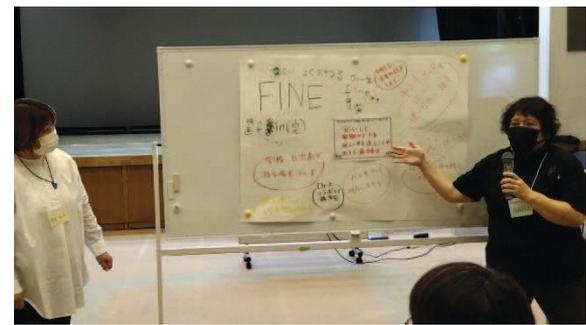
○最も印象に残っていることは?

○今、感じていることは?



	<p>オリエンテーションでは、ファシリテーターの浦崎氏から参加者が発言しやすくなるように促していただいたおかげで、たくさんのアイデアを出し合うことができました。それぞれのアイデアを3人グループで共有し、グループのメンバーを交代しながら、さらに内容を深めていった。</p> <p>レシピづくりでは、5つのグループに分かれ、各グループとも積極的に対話を行い、アイデアを実現する方法を探るグループや、アイデアをさらに広げていくグループなど多様な展開が見られた。</p> <p>講座アンケートから、参加者の9割以上が、自分がやってみたいまちづくりに対する何らかのイメージがつかめたという結果となった。</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような自分の想いやプランを共有する、話してみる場が、今後も広がると良いなと感じた。 ・色々な方と交流ができて、すごく視野が広がりました！自分のやることも決まり、すごく良かったです。ありがとうございました。 ・今日同じグループの方のアイデアと一緒にやっていきたいと思いました。 ・あたたかみのある講座でした。心を開きたくなるような。ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">（一部抜粋）</p>

写真



浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 第5回講座 アンケート

日時:令和5年11月12日(日) 14:30~16:30

場所:浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】21名

まちづくりアカデミー受講者:9名 公開講座参加者:7名 講師:1名 ハーモニーセンター2名
事務局:2名

【アンケート回答者】

1. 属性

まちづくりアカデミー受講者 9件 公開講座参加者 6件

2. お住まい

浦添市 14名 浦添市外3名

3. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
15(100%)	0(0%)	0	0

4. ご自身でやってみたいまちづくりの活動について、具体的なイメージはつかめましたか。

はっきりしてきた	だいぶつかめた	ぼんやりと つかめた	まだわからない	無回答
2(13%)	9(60%)	3(20%)	0	1(7%)

5. まちづくりプラン助成金交付事業(まちプラ)について(複数回答あり)

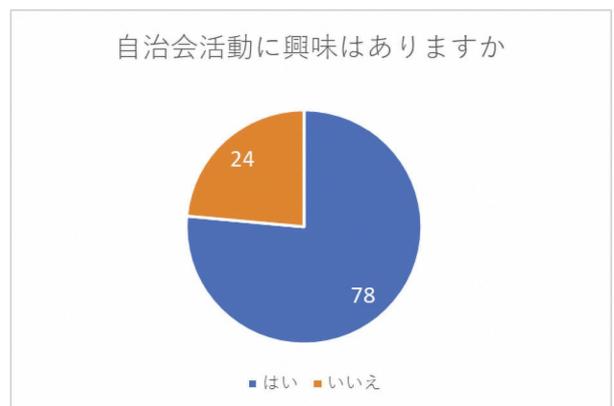
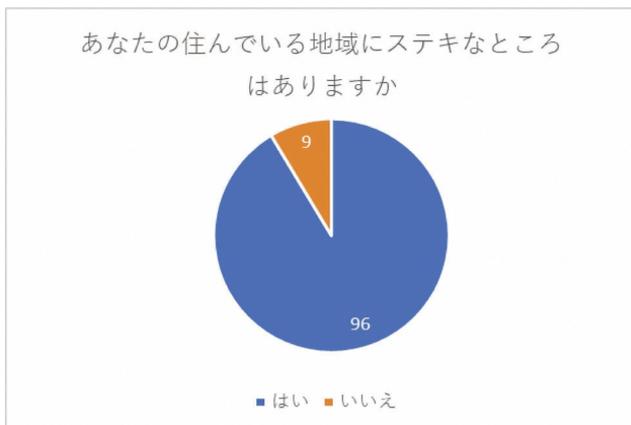
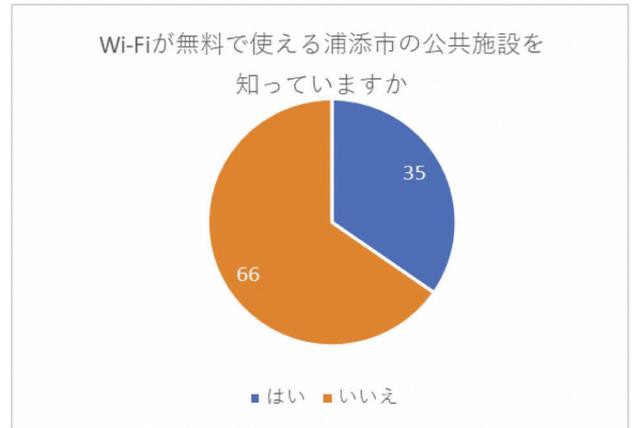
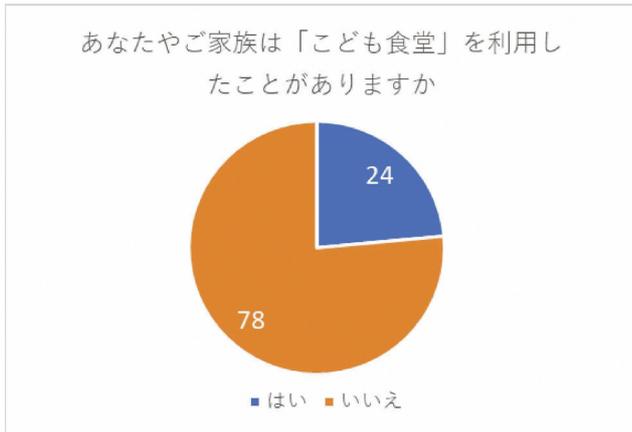
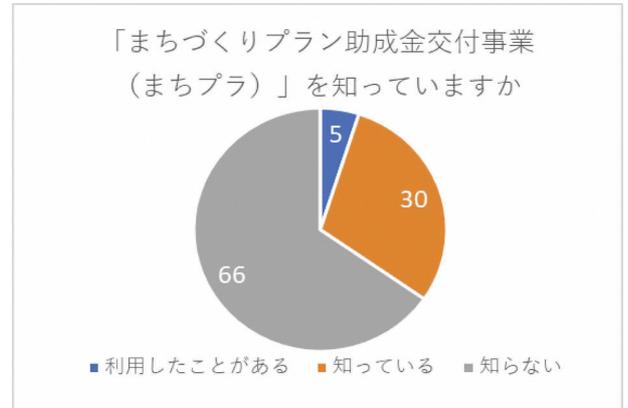
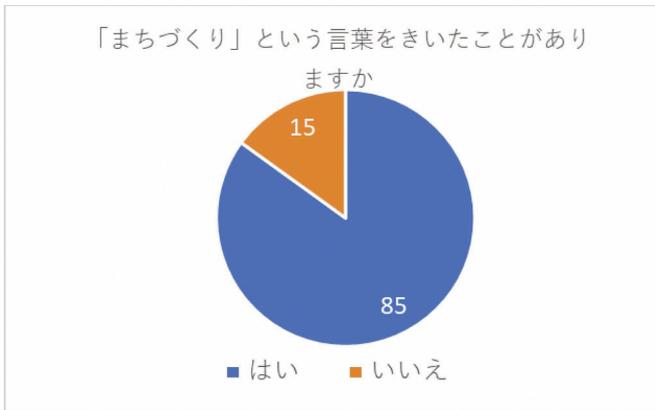
ぜひ応募したい	だれかと一緒に 応募したい	詳しく話を 聞いてみたい	ハードルが 高い	その他	無回答
2(13%)	5(33%)	4(27%)	1(7%)	4(27%)	1(7%)

6. ご意見・ご感想など

- ・まなぶというのはいくつになっても必要と感じました。色々なことをまなびました。
- ・とても興味深かった。
- ・今回のような自分の想いやプランを共有する、話してみる場が、今後も広がると良いなと感じた。
- ・交流の場があると楽しくて、また来たいと思いました。
- ・色々な方と交流ができて、凄く視野が広がりました！自分のやることも決まり、普段の生活にも役立ちそうなものばかりで、とても有意義な講座だった。

- ・初めての参加でしたが、とても内容が濃くてとても心に刺さりました。ありがとうございました。
- ・今日は充実してました。人とのつながりがまちをよくすると感じました。
- ・今日同じグループの方のアイデアと一緒にやっていきたいと思いました。
- ・いろんな方と話ができてよかったです。
- ・あたたかみのある講座でした。心を開きたくなるような。ありがとうございました。
- ・私にとってもいい機会でした。ありがとうございました。
- ・場の作り方が私が申し上げるのは恐縮ですが、とても勉強になりました。想いを共有し広げることができて本当にありがたい時間をすごさせていただきました。ありがとうございました。

市民協働とまなびのフェスタ浦添・2023 市民協働アンケート 結果



講座報告書

第6回講座	
日時	令和5年12月7日(木)19:00~21:00
テーマ	模擬まちプラ ～浦添市まちづくりプラン助成金交付事業への応募を模擬体験する～
ファシリテーター	屋良百合(特定非営利活動法人シンコペーション)
会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター 研修室
参加人数	11名(受講者:4名 行政:4名 事務局:3名)
講座内容 (概要)	<p>2. 市民協働のまちづくりのアンケートの振り返り 市民協働とまなびのフェスタ浦添 2023 にて、来場者を実施したアンケート結果の共有</p> <p>2. 第5回講座で作成したまちづくりレシピから、「模擬まちプラ」で応募するプランを選択 <ul style="list-style-type: none"> ○UOD(うらそえ おおそうじ だいさくせん) ○安心して最期の時を迎えらえる、送ることができる浦添市 </p> <p>3. グループに分かれ、まちプラ応募シートの作成 <ul style="list-style-type: none"> ①事業内容の検討 ②事業に対する思いを伝えるためのPR文の作成 ③事業収支計画の検討 ④事業収支計画と事業内容の整合性の確認 ⑤事業名称の確定と目的の確認 </p> <p>4. 中間発表 <ul style="list-style-type: none"> ①UOD(うらそえ・おおそうじ・だいさくせん) 多世代交流をしながら自治会活動を活性化し、浦添市のまちをきれいにする ②看取りサポーター キャラバン 安心して最期の時を迎えることができる、送ることができる浦添市に </p> <p>時間制限がある中で、事業計画を詳細に作成することは難航していたが、グループで協力し、一人では気づけないところに気づいたり、新たなアイデアが生まれたりしていた。「まちプラ」では3人以上のグループでの応募となっている意味を感じ取ってもらえたのではないかと思います。</p> <p>前回の講座ではアイデアがたくさん出るよう、資金は無制限という前提であったが、「模擬まちプラ」では予算の制限も設け、実現可能な計画に近づけていった。</p>

参加者の声	<p>・事業計画書を考えるのは難しかったです。収支計画書は、一人では必要な物が思い浮かばなかったのですが、皆で考えると20万円近く考えることができ、皆で考えることのありがたさを学びました。ありがとうございました。</p> <p>・まちづくりは自分たちで考えて実現できるということがよくわかりました。何でもできるというおもしろさを知ることができました。</p> <p>・今日は具体的に事業計画書などの製作の仕方などを学ぶことができ(実践的)良かったです。とても参考になりました。</p> <p style="text-align: right;">(一部抜粋)</p>
-------	---

写真



浦添市てだこ市民大学・まちづくりアカデミー 第6回講座 アンケート

日時: 令和5年12月7日(木) 19:00~21:00

場所: 浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】11名

受講者 4名 行政 4名 事務局 3名

1. 講座について

満足	やや満足	やや不満	不満
5(100%)	0(0%)	0	0

2. 模擬まちプラの作成について。

分かりやすかった	なんとなくわかった	難しかった
2(40%)	0(0%)	3(60%)

3. まちづくりプラン助成金交付事業(まちプラ)について(複数回答あり)

ぜひ応募したい	だれかと一緒に 応募したい	詳しく話を 聞いてみたい	ハードルが高い
1(16%)	3(50%)	1(16%)	1(16%)

4. ご意見・ご感想など

○事業計画書を考えるのは難しかったです。収支計画書は、一人では必要な物が思い浮かばなかったのですが、皆で考えると20万円近く考えることができ、皆で考えることのありがたさを学びました。ありがとうございました。

○まちづくりは自分たちで考えて実現できるということがよくわかりました。何でもできるというおもしろさを知ることができました。

○助成金を頂いて、それを自分のやりたいこと(=目指すうらそえ市への一歩)をやらせてもらうことの、口に出すことと、実際に計画し行動に移すことの間には大きな壁があることがわかった。高い志や意欲ももちろん必要だが、その自分の価値観を、第3者に説明するテクニックや知識の習得も大事なことだと、公金を頂くことのハードルの高さを改めて感じた。とてもいい学びの場になりました。

○今日は具体的に事業計画書などの製作の仕方などを学ぶことができ(実践的)良かったです。とても参考になりました。

○すごく勉強になりました。細部にわたり気づかない部分が多く、若い方々の気づきに驚いたり、初めて聞くワードの意味を教えて頂いたり大変有意義な時間でした。助成金までにはハードルが高すぎると思いました。

講座報告書

第7回講座	
日時	令和6年1月11日(木)19:00~21:00
テーマ	模擬まちプラ審査会 閉校式
審査員	浦崎修氏(HOD おきなわ) 富山美那子(浦添市市民部市民協働・男女共同参画課長)
会場	浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター 研修室
参加人数	11名(受講者:4名 行政:4名 事務局:3名)
口座内容 (概要)	<p>3. 第6回講座の振り返り 前回欠席者は参加するグループを決定</p> <p>2. 模擬まちプラ プレゼンテーション準備</p> <p>3. グループ発表</p> <p>①UOD(うらそえ・おおそうじ・だいさくせん)</p> <p>【目的】 多世代交流をしながら自治会活動を活性化し、浦添市のまちをきれいにする。</p> <p>【手法】 市民協働とまなびのフェスタ浦添と同日開催で、各自治会からごみを拾いながら、浦添大公園へ集合する。ごみを拾った量で賞を決定する。企業に呼びかけ、賞品の提供、ボランティア参加をお願いする。 子どもたちへの参加呼びかけは児童センターに協働をお願いし、ごみを拾いながら、地域のおすすめスポットの写真を撮ってもらう。</p> <p>②看取りサポーター キャラバン</p> <p>【目的】 「安心して最期の時を迎えることができる、送ることができる浦添市に」</p> <p>【手法】 5中学校区それぞれに講師を迎え、看取りについて考える機会を提供する。 高齢者だけではなく、家族も一緒に参加することで、家庭でどのような最期を迎えたいか話せるようになる。</p> <p>4. 審査員講評</p> <p>【全体】 審査会のプレゼンでは、申請書類にある項目については強調したいことだけを話す。これまでの活動の中で「ここが変わった」「こういうことがあった」などエピソードを交えたり、「これをやることでこうなる」などのストーリーが大切。プレゼンの方法としては、キーワードを紙に書きだし、紙芝居方式にするなど、審査員に</p>

訴える方法を考える。

【UOD】

浦添市全体ということが実際の規模として実現できるのか？

多世代交流が目的なのか、まちをきれいにするのが目的なのか明確にする。

まなびフェスタと合わせて行うのは良いアイデア。

子どもたちを巻き込むことで、子どもの居場所とつながることができる。

企業との協働は重要なポイント。実際のプレゼンでは収支計画が重要となるので、きちんと試算する。

【看取り】

参加予定人数など、具体的な数字を明記すると説得力が増す。

タブーとされていることを家族で考える機会は大切。その時になって家族も慌てずに済む。

看取りに関しては浦添が沖縄をリードしていくという主張があるとより効果的。

5.閉講式

参加者の声

- ・審査委員お2人の視点を聞くことができ勉強になった。
- ・浦崎さんのアドバイスが的確でわかりやすかった。
- ・未来の浦添市が楽しみです。
- ・学ぶことが多くとても良かったです。

(一部抜粋)

写真



浦添市まちづくりアカデミー 第7回講座 アンケート

日時:令和6年1月11日(木) 19:00~21:00

場所:浦添市市民協働・男女共同参画ハーモニーセンター

【参加者】14名

受講者:6名 審査員:1名 行政:4名 事務局:3名

1. まちづくりアカデミーの講座を受講してあてはまるものにチェックを入れてください。

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
3(50%)	2(33%)	0	0	1(17%)

1の理由

審査委員お2人の視点を聞くことができ勉強になった。

楽しく受講できました。

多くの気づき、ヒントをいただきました。

すべて参加できなかったから。

参加回数が少なくてもっと勉強したかったから。

2. 講座の中で特に良いと思ったものは何ですか。(複数回答可)

開講式のトークセッション	4(67%)
活動する市民の話	4(67%)
市民協働とまなびのフェスタ市民アンケートの実施	4(67%)
市民協働とまなびのフェスタ 公開講座	5(83%)
まちづくりプランの作成	6(100%)

3. 今後の市民協働活動について

主体的・積極的に市民協働に関わりたい	3(50%)
活動する仲間を見つけたい	4(67%)
ボランティアとして活動したい	3(50%)
もっと情報収集や勉強をしたい	4(67%)
活動するつもりはない	0(0%)

4. まちづくりプラン助成事業(まちブラ)について

応募したい	1(17%)
誰かと一緒に応募したい	3(50%)
いずれ応募したい	2(33%)
応募するのは難しい	0(0%)

5. ご意見・ご感想など

- ・あっという間でした。参加される方々や講師の方からいただく言葉にヒントをいただいたり、とてもありがたい時間でした。終わるのでさみしいですが、ありがとうございました。
- ・充実したアカデミーでした。今後役に立てていけたらと思います。みな様お疲れ様&ありがとう。
- ・浦崎さんのアドバイスが的確でわかりやすかった。
- ・1年間本当にお疲れさまでした。未来の浦添市が楽しみです。
- ・学ぶことが多くてとても良かったです。